

「航空政策の現状と展望」

日時：4月18日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階SMBCホール
(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、国土交通省 航空局長 久保田雅晴 氏からお話を伺います。

「空のインフラ」である航空は、国内・国際の航空需要に対応するだけではなく、観光先進国の実現や地方創生など、国の成長戦略を担う重要な役割を持っています。航空行政の取り組みを振り返りつつ現状分析を行うとともに、今後の航空行政の方向性について論じます。

具体的には、ポストコロナ禍における航空ネットワークの維持・確保、人材確保、将来を見据えた空港機能の高度化、国際的にも喫緊の課題である航空分野における脱炭素化の取り組み、ドローンの一層の利活用や空飛ぶクルマの実現等の取り組みについて考察します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

※資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手して下さい。
授業開始の1時間前までを目途に掲示します。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp—



国土交通省
航空局長
久保田 雅晴 氏